一般国道4号 岩手県北上花巻道路における計画段階評価

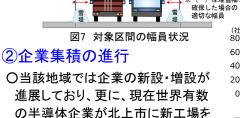
1. 岩手県北上花巻地区の課題 花巻東BF 区間 ①交通混雑による速度低下 〇対象区間は整備済み区間に挟ま れた2車線区間となっており、前後 47.8 40.7 区間に比べ大きく速度が低下。冬 21.3 期はさらに速度が低下。(図1) 冬期上り方向 冬期はとくに速度低下 42.1 ②物流を阻害 が大きい 33.1 ○対象区間は、南北方面に製品を輸送 資料 プローブデータ: 通常期H30.4-6 平日、冬期H29.12-H30.3朝ピーク時旅行速度 する際の物流ルートとして利用されて 図1 対象区間における速度状況 いるが、輸送ルート上 問題が多い区間として 盛岡·青森 (N=58社) 方面へ 活性化 利用企業から指摘され 4車線化 ており、円滑な交通確 拘束時間 の適正化 複車線化 貨物ターミナル駅~ 保が課題。 中部工業団地思 33% を往復 移動時間 (図2、3、写真1) 昆雑解消 北上流通基地 4車線化、混雑解消、 移動時間の短縮 北上 約7割 図3 対象地域周辺企業が 岩手中部 2車線区間に期待する内容 写真1 対象区間の渋滞に ロジスティクス懇話会アンケ 巻き込まれる貨物車両 H30岩手県南地域ロジスティクス懇話会アンケート結果より作成 図2 対象区間を利用する流動イメージ ③交通事故の発生 254.1 ○対象区間では過去10年間で死亡事故が3件発生。 200 平均の 〇4車線から2車線に車線が減少する北上工業団地口 約10倍 100 交差点では、死傷事故率が岩手県直轄国道平均事故 率の約10倍。(図4) 図4 対象区間の死傷事故率 ○更なる交通需要の増加が見込まれる中、安全・安心 事故率最大箇所) な交通の確保が課題。 5割以上を 北上市へ搬 4枚急車両への支障 岩手県立 中部病院 花巻市内 〇花巻市における救急搬送先で 1,360件 1,791件 51% は、全体の約5割が北上市の病 北上済生 会病院 107件 院へ搬送されているが、幅員が 狭く、緊急車両の円滑な走行性 資料:花巻市消防(H31) 図5 花巻消防の二次・三次医療 写真2 対象区間を走行する 確保に課題。(図5、写真2) 施設への救急搬送先(H30)

2. 原因分析

①容量不足による混雑

○対象区間は混雑度1.40と高く、南北軸を 断面として評価しても断面の交通量が断 面合計の交通容量を超過しており、当該 区間が交通のボトルネックとなり、円滑

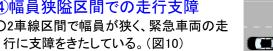
な物流を阻害(図6) 街路交通情勢調査 60,000 Oまた、ほぼ全区間に渡り適切な路肩幅 員が確保されておらず、冬期は路肩に 40,000 堆雪した雪の影響でさらに速度が低下 (図7) 0.55m (1.25m) (1.25m 約2.2m



建設中であり、今後、更なる交通需 要の増加が見込まれる。(図8)

③交通混雑による追突事故 ○対象区間の事故類型をみると、混雑に 起因する追突事故が全体の約8割を占 めている。(図9)

4 幅員狭隘区間での走行支障 〇2車線区間で幅員が狭く、緊急車両の走



+ 図10 車線区間における救急搬送時の問題点

60

北上拡幅

40,500

27,800

12,700

21年 22年 23年 24年 25年

はなまき きたかみ

北上市

花巻東バイバス

花巻市

交通容量

29,000

9,200

12,800

7,000

C断面

約8割

資料:H26-29交诵事故データ

延長約3km

交通容量超過

33,700

24,200

9,500

混雑度は道路交通センサスの混雑度算定の考え方に基づき算出

図6 国道4号北上花巻地区の交诵量・混雑度

図8 花巻市・北上市における企業進出の状況(累計)

40件/4年

図9 対象区間の死傷事故類型

きたかみはなまき

3. 政策目標

①交通容量の確保による渋滞の緩和 ③交通安全の確保

4安定した救急搬送ルートの確保 ②円滑な物流ルートの確保

4. 対策案の検討

交通容量の確保に

円滑な物流ルート

交通安全の確保

【案①】標準横断図(イメージ)

歩道 **▶**◀

の確保

政策目標

よる渋滞の緩和

評価項目

ルート案の主旨

交通容量の確保

交通事故の低減

物流経路の速達性向上

	安定した救急搬送 ルートの確保	教急搬送ルートの 走行性・速達性の向上	0	・必要な道路幅員が確保され、緊急車両の走行性・速達 し、安定した走行が期待される	性が向上	×	・道路幅員は現状と変わらないため ない	
事項の	地域の環境配	自然環境や 沿道施設への影響	0	整備による騒音環境等への影響は小さい		0	・現況と変わらないため影響なし	
	す地域の土地利用べ	支障物件等の影響	0	・建物(家屋・小屋等)への支障はあるが、沿道の利用 化しないため影響は小さい	形態は変	0	・現況と変わらないため影響なし	
	き 経済性	事業費※1	_	・約60~70億円		-	・約15~20億円(交差点改良事業)	
※1現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある								
至	4車線 村崎野地区交差点改良 0.6 km 8 監監				対応方針:現道拡幅による対策が妥当 【計画概要】 ・路線名:一般国道4号 北上花巻道路 ・区間:岩手県北上市村崎野 ~ 岩手県花巻市 ・概略延長:約3km ・標準車線数:4車線 ・設計速度:80km/h ・概ねのルート:図11の到			
北上工業団地 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	(参考)当該事 地元調整の北 R1.6:第1回 R2.2:都市道		<u>況</u> 等 地ブ	等 5小委員会(地域や道路の状況と課題、	
	図11 北上花巻地区における対策案検討					地域の要望等		
 						D1 5 出手目知恵が細本株准も亜胡		

車道

0

 \circ

和する

全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量と安

全線の4車線化により、容量が確保され、現道の交通混雑が緩

交通混雑の緩和により、ボトルネックが解消し円滑な物流ル-

トが確保され、企業立地や雇用の拡大など、産業発展に寄与

・全線の4車線化により、混雑に起因する追突事故が減少する

全・安心な通行空間を確保するルート

現道拡幅案 延長約3㎞ ソフト施策+交差点改良案 延長約3㎞

全な通行を確保するルート

和するが、交通容量は変わらないため、抜本的な解消にはつながらない

と変わらないため、ボトルネックの抜本的解消にはつながらない ・交差点改良により事業区間内の事故は減少するが、その他の区間は現況

・TDM等のソフト施策及び2交差点の改良により、交通需要のコントロールと安

・時差出勤、公共交通機関等の利用促進により通勤時間帯の交通混雑は緩

信号制御の高度化※2により交差点部の渋滞は緩和するが、単路部は現状

※2 実測交通量に合わせ、リアルタイムに信号制御を行う方式(MODERATO等)

と変わらないため、事故の低減にはつながらない 道路幅員は現状と変わらないため、緊急車両の走行性・速達性は向上し

現況と変わらないため影響なし

区間:岩手県北上市村崎野 ~ 岩手県花巻市山の神 概略延長:約3km

設計速度:80km/h ・概ねのルート:図11の現道拡幅案の通り

R1.6:第1回地方小委員会(地域や道路の状況と課題、比較案の設定、対応方針(案)のまとめ)

R1.5 岩手県知事が調査推進を要望

R1.6 花巻市長が4車線拡幅整備を要望

R1.10 国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会が4車線早期事業化を要望

R1.11 岩手県知事、花巻市長が4車線早期事業化を要望

R2.2 岩手県知事、花巻市長、北上市長が4車線早期事業化を要望